令和８年度スポーツ庁長官賞争奪
日本生命杯
第６回全日本少年少女空手道選抜大会

実　施　要　項

令和９年２月１２日（金）～２月１４日（日）

横浜武道館

令和８年度スポーツ庁長官賞争奪
日本生命杯 第６回 全日本少年少女空手道選抜大会

１．大会名

令和８年度スポーツ庁長官賞争奪 日本生命杯 第６回 全日本少年少女空手道選抜大会

２．主催・主管・後援

主催・主管	公益財団法人全日本空手道連盟・全日本空手道関東地区協議会・神奈川県空手道連盟
後援（予定）	スポーツ庁（公財）日本スポーツ協会・（公財）日本武道館・日本武道協議会神奈川県・（公財）神奈川県スポーツ協会・神奈川県教育委員会・横浜市 （公財）横浜市スポーツ協会・横浜商工会議所・（公財）横浜市観光協会 毎日新聞横浜支局・（一社）YOKOHAMAGOODS 横濱００１・神奈川武道会
協賛	医療法人イルソーレ・（株）チャンプ・（株）ミツボシ・（株）守礼堂・（株）ケイティディ・（株）フォーム化成 ・（株）東海堂・（株）ヒロタ・（株）東京堂インターナショナル空手着の尚武・（株）コレモ・（株）ヨコブリシ・FFFJ（株）

３． 期日・会場・受付について（記念品とプログラムの配布）

（１）期日：令和９年２月１２日（金）～１４日（日）

（２）会場：横浜武道館（横浜市中区翁町２丁目９番１０号）※会場への問い合わせは禁止とする。

（３）受付は１２日（金）１３時～１７時に横浜武道館１Ｆフロアーで行う。

ア. 受付では都道府県に配布する出場選手一覧表データに出欠確認欄を記載して提出する。

イ. 欠席者は欠席届を提出する。

ウ. 団体組手選手変更は団体組手選手変更届を提出する。

エ. 受付ではプログラムと記念品を都道府県へ配布する。都府県３部、北海道は１０部、
パーソナルコーチは登録数分を都道府県へ配布する。

オ. ＩＤカード・ゼッケン及び全少選抜ワッペンは事前に都道府県連盟事務局へ送付する。

４．日程・競技種目

１２日（金）		１３日（土）		１４日（日）	
		8：10	入館	8：10	入館
		8：50	開会式	8：50	開始式
		9：15	形競技 個人戦 決勝戦まで	9：00	組手全学年 準決勝まで
		12：25	昼食	10：30	組手全学年 決勝戦
13：00	団体受付	13：10	形競技 団体戦 決勝まで	11：00	組手男子団体戦３回戦まで
		14：35	組手１年・２年３回戦まで	12：30	昼食
		15：35	組手３年・４年３回戦まで	13：00	組手女子団体戦３回戦まで
		16：35	組手５年・６年３回戦まで	14：40	組手男子・女子団体戦決勝まで
17：00	受付終了	17：15	形 全競技表彰式	16：20	組手 全競技表彰式
		18：00	閉式宣言・記念撮影思い出タイム	17：00	閉会式・記念撮影思い出タイム

5．競技規定

（公財）全日本空手道連盟競技規定および本大会申し合わせ事項で行う。

（１）形競技（個人戦および団体戦）

ア. トーナメント方式で行う。（３位決定戦は行わない）

イ. １回戦から決勝戦まで得点による多数決で実施する。

ウ. １回戦から準決勝戦までは２名同時演武、決勝戦は１名ずつの演武とする。

エ. 形の団体戦は男女別３人制とし、４年・５年・６年生より構成する。

１回戦から準々決勝戦	全空連基本形とし、同じ形を繰り返し演武することができる。
準決勝戦	予選で演武していない基本形・第１指定形・第２指定形から選択する。
決勝戦（個人戦）	これまで演武していない基本形または指定形を選択する。
決勝戦（団体戦）	予選で演武していない基本形・第１指定形・第２指定形から選択する。 準決勝戦で演武した形の繰り返しを可とする。

（２）組手競技（個人戦および団体戦）

ア. トーナメント方式で行う。（３位決定戦は行わない）

イ. 競技は１分３０秒フルタイム・６ポイント差とする。

ウ. ビデオレビュー（VR）システム、プロテストは採用しない。

※競技規定違反に対する異議申し立てについては、その場でコート主任に申し出て訂正を促すこと。

エ. 団体戦の試合順について

①１・２回戦は（４・５・６・１・２・３年）とする。

②３・４回戦は（１・２・３・４・５・６年）とする。

③準決勝・決勝戦は（４・５・６・１・２・３年）とする。

④団体戦代表決定戦については、４年・５年・６年の中より、正・副審判長が抽選して通告し、その指定された学年の選手が団体戦代表決定戦を実施する。

⑤団体戦において、初戦は勝敗が決しても６人全員が試合を行う。

※１回戦より６名全員出場が望ましいが、欠員２名までは出場を可とする。

※チーム内の欠員について、大会に出場している同地区協議会内選手への変更は可とするが、一人の選手が複数のチームから出場することは出来ない。**また、選手の登録変更をする場合は大会受付時（２月１２日・金）に選手変更届を提出すること。**

（３）組手安全具について

ア. 小学生用拳サポーター（全空連承認の赤・青リバーシブル）

イ. メンホーⅦ（全空連承認のもの）

ウ. ボディプロテクター（全空連承認のもの）

エ. インステップガード・シンガード（全空連承認の白色）

オ. セーフティカップ（小学３年生以上の男子は必ず装着）

※セーフティカップ装着について、小学１・２年生男子は保護者・指導者・監督等の判断に委ねる。

※安全具は選手各自において用意すること。

※安全具に不備のある選手は出場することができない。

（4）選手の服装について（別紙参照）

ア. 空手着メーカーについては指定しない。イ. 空手着の紐は必ず結ぶこと。

ウ. 赤・青帯は全空連で検定されたものを各自で用意すること。

エ. 金属類のヘアピン等、ヘアバンド、リボン、ビーズの使用・装着は一切認めない。シングルポニーテールに１つまたは２つの控えめなゴムバンドの使用は許可する。

オ. 左胸に地区協議会名を入れること。（シールタイプも可とする）カ. 左袖に交付される全少選抜ワッペンを縫着すること。

キ. 右袖に都道府県名を入れること。（シールタイプも可とする）

※縫着するものは、全ての辺をしっかり縫い付けること。

※シールタイプのものを装着する場合は、剝がれないように配慮すること。

※空手着に不備のある選手は出場することができない。

（5）地区協議会監督・都道府県監督及びコーチ・パーソナルコーチの服装について

ア. 監督・コーチ・パーソナルコーチは審判員と区別がつく、地味なカジュアルフォーマルを着用する。

イ. 監督・コーチは全空連ネクタイ（紺色）を着用する。パーソナルコーチはネクタイ着用不可とする。

ウ. スラックスは黒、紺またはグレー系とする。

エ. シューズは踵が床を傷つけない物とし、派手な色合いは禁止とする。（サンダル不可）

オ. ＩＤカードは常時携帯する。（首から下げる）

※女性はスラックスまたはスカートも可とする。

（6）大会審判団は、（公財）全日本空手道連盟により編成される。

ア. 各都道府県が推薦した全国組手審判員および地区形審判員以上の資格を有する審判員を大会審判員として委嘱する。（８３名募集）

※各都道府県は上記資格を有する審判員を最低２名以上推薦すること。

イ. 大会審判員に不足が生じた場合、関東地区協議会の審判員から委嘱する。

6．出場枠（地区協議会）

（1）同一選手の重複出場を可とする。（形競技と組手競技の個人戦と団体戦）

ア. 形競技個人戦では、各地区競技会から１種目４名選出する。関東地区と九州地区は１種目６名選出する。

イ. 組手競技個人戦では、各地区競技会から１種目４名選出する。関東と九州地区は１種目６名選出する。

ウ. 形団体戦では、各地区内都道府県数分（北海道は４チーム）の出場を可とする。

エ. 組手団体戦では、各地区内都道府県数分（北海道は４チーム）の出場を可とする。

オ. 団体戦は都道府県単独チーム又は地区協議会混成チームで構成する。

カ. 地元枠（横浜市）は、個人形・個人組手１種目１名の出場を可とする。

7．出場資格

【選手・監督・コーチ・パーソナルコーチ共通事項】

（1）公益財団法人全日本空手道連盟の会員であること。

【選手】

（2）各地区協議会および所属団体が選出した代表選手であること。

（3）全空連公認少年段位または公認級を保有していること。

【監督・コーチ】

（4）都道府県監督（地区協議会監督兼任）は１名とし、都道府県コーチは４名まで登録することができる。

※アリーナ内に一度に入館できる都道府県監督・コーチは２名までとし、各都道府県に監督ＩＤ１枚（地区協議会監督兼任）とコーチＩＤは最大４枚まで発行する。

※北海道は監督１名、コーチ８名まで登録を可とし、一度に入館出来る人数は６名とする。

（5）日本スポーツ協会公認空手道コーチ１以上、または地区組手審判員以上の資格を有する者であること。

【パーソナルコーチ】

（６）パーソナルコーチ登録は選手単位とし、複数選手への登録は認めない。

※登録されたパーソナルコーチのアリーナ内への入退場は、選手と同時に入場し選手と同時に退場する。

（７）パーソナルコーチは中学生以上とする。

（８）保有資格は問わないが、事前講習（動画視聴型）を必ず受講し、所定の課題に合格すること。

８．申込手続き

県連事務局で行います。

９．出場費について

個人戦出場費	１種目	１名	８，０００円
団体戦形出場費	１チーム		２０，０００円
団体戦組手出場費	１チーム		＜※兵空連にて負担＞
パーソナルコーチ登録費（講習会費込）		１名	３，０００円

(※納入された参加費は、理由の如何に関わらず返金しない。

１０．組み合わせ抽選

組み合わせ抽選の結果は２０２７年１月下旬に神奈川県空手道連盟公式ホームページに掲載予定とする。
選手のゼッケンは２０２７年１月中旬に都道府県連盟事務局に送付予定とする。

１１．表彰

（1）スポーツ庁長官賞および日本生命杯の授与について

男女別に総合得点最上位の地区協議会に対し、スポーツ庁長官賞を授与する。

得点及び順位決定は次による。

⑴ 国民スポーツ大会方式に基づき、各種目の入賞者に次の得点を付与する。

【団体戦】

１ 組手競技１位４０点 ２位３５点 ３位３０点（２チーム） ５位１２．５点（４チーム）
２ 形競技１位４０点 ２位３５点 ３位３０点（２チーム） ５位１５点（２チーム）
７位１０点（２チーム）

① 団体戦の得点は、地区協議会を構成する都道府県数をもって調整する。

例: 関東・九州＝４０点×４/８＝２０点 東北・近畿＝４０点×４/６＝２６．６点
北信越・中国＝４０点×４/５＝３２点 東海・四国・北海道＝４０点

【個人戦】

１ 組手競技 １位８点， ２位７点， ３位５点（２名）， ５位２．５点（４名）

２ 形競技 １位８点， ２位７点， ３位５点（２名）， ５位３点（２名）， ７位２点（２名）

⑵ 総合得点が同点の場合は優勝者数の多い地区協議会を上位とする。

（2）各種目、上位8名（チーム）を表彰する。

ア. 表彰式への参加は対象選手、監督、コーチ、パーソナルコーチのみとする。

イ. 表彰される地区協議会代表者は１４日（日）の表彰式に参加する。

ウ. 表彰式終了後は上記以外にもアリーナ内への入場を可とする。（思い出タイム）

１２．審判会議・監督会議・パーソナルコーチ講習

（1）審判会議
日時：２０２７年1月１９日（火）１８時００分～１８時４５分（予定）
方法：Microsoft Teams によるオンライン開催とする。

（2）監督会議
日時：２０２７年1月１９日（火）１９時００分～１９時４５分（予定）
方法：Microsoft Teams によるオンライン開催とする。

（3）パーソナルコーチ講習会（動画視聴型）
期日：２０２７年1月１２日（火）から２０２７年1月３１日（日）まで
方法：ＩＤカード・ゼッケン送付時に同封する『受講案内について』を確認し、受講すること。

１３．配信について

本大会は（公財）全日本空手道連盟公式YouTube チャンネルにてLIVE 配信を予定する。

１４．宿泊とお弁当の申込について

（株）ジョイフェスト
〒236-0016　神奈川県横浜市金沢区谷津町308-106
045-355-0238　担当者　西田剛幸　090-7172-1333
Email　joyfesto@gmail.com

ア. 大会役員と審判員の宿泊とお弁当の申し込みは、大会申込データより予約する。
イ. 個人の申込は、神奈川県空手道連盟のホームページより申込シートをダウンロードし、
上記（株）ジョイフェストに送信する。

１５．練習会場について

（1）会場名：シンコースポーツ 神奈川県立武道館（横浜市営地下鉄・岸根公園駅下車３分）
①令和９年２月１２日（金）１０時～１７時（柔道場は組手練習場、剣道場は形練習場、小道場）
②令和９年２月１３日（土）９時～１７時（柔道場及び剣道場は組手練習場、小道場）
③令和９年２月１４日（日）９時～１２時（小道場のみ）柔道場・剣道場使用不可
※選手及びパーソナルコーチ・都道府県コーチのＩＤカード所持者のみ入場を可とする。

１６．その他

（1）安全対策
ア. 選手は、各自の責任において健康診断を受け、医師の出場許可を得ておくこと。
イ. 主催者において、参加選手全員に傷害保険を付保する。
ウ. 出場選手が競技中に負傷した場合は、主催者において応急処置を施す。
エ. 選手は必ず健康保険証を携行し、初診に必要な費用等を用意すること。
（2）ゼッケンは主催者で作成し、２０２７年１月中旬に各都道府県連盟事務局に送付する。
（3）試合を棄権する場合は、監督・コーチが事前もしくは当日招集時間までに棄権届を提出すること。
（4）大会期間中の忘れ物は、大会終了後１週間は当連盟で保管する。

１７．肖像権について

本大会は、大会の模様をインターネットによるLIVE 配信にて実施する予定であり、会場にて観戦できない関係者への周知・案内も行う予定である。これらの事情を踏まえ、肖像の取り扱いについては以下の通りとする。

ア. 公益財団法人全日本空手道連盟および関係機関が認定したLIVE配信業者・報道機関によって撮影さ れた映像・写真が中継・録画放映またはインターネット等を通じて配信・二次利用される場合がある。 LIVE配信等の実施に際し、参加者の個人情報（氏名・所属等）大会記録等を公表する場合がある。

イ. 本大会への参加申し込みをもって、上記アの取り扱いについて同意いただいたものとみなす。

ウ. 掲載内容の訂正・削除等を希望される場合は、本人確認のうえ、当連盟ホームページにあるお問い合せフォーム（https://www.jkf.ne.jp/contactus）よりお申し出いただきたい。

１８．お問合せ

県連事務局までお願いします。

服装について

胸マークについて

縫着位置：左胸（地区協議会名のみ）

サイズ：縦２０cm×横１０cm以内とする。

※シールタイプを使用する選手は４つ角を仮止めするなど、剥がれないように配慮すること。

両腕部マークについて

右袖：都道府県名。

左袖：参加章ワッペンを縫着する。

※独自の表記は認めない。

製造業者商標ラベルについて

製造業者がはじめから付けた織ラベル・商標のみ、以下の個所に許可する。許可箇所：上着裾表側、ズボン表側（左右どちらか）、右胸、首襟元のみ

※上記以外の個所へのワッペン・刺繍等は一切認めない。



空手着表記図	
左　胸	地区協議会名（シールも可）
右　胸	製造業者商標のみ可（首襟元も可）
左　袖	参加章ワッペンを縫着する（第６回全少選抜用）
右　袖	都道府県名（シールも可）
背　中	大会指定ゼッケンを縫着すること

※両サイドの紐を必ず結ぶこと。

※左右肩はいかなる表記も不可とする。

【喫煙者の皆さまへ、分煙マナーバスの使用と敷地内・周辺道路での完全禁煙のお願い】

※昨年度大会では、路上喫煙につきましての厳重注意を横浜武道館より受け、本年度は分煙マナーバスの用意をいたしました。会場周辺は歩行喫煙禁止地区であり、歩きたばこは過料（２，０００円）の対象となりますので、喫煙は必ず分煙マナーバスを利用して下さい。

（1）メインアリーナ・練習会場の入退場の制限（入退場の規制）について

①パーソナルコーチは選手と同時に入場し同時に退場をする。（パーソナルコーチの単独入退場不可）

②都道府県コーチは選手と同時に入場し同時に退場をする。

③②とは別に、各都府県２名までは個別（選手同伴無し）にアリーナに入場出来る

④北海道のみ地区登録として４名まで個別（選手同伴無し）にアリーナに入場出来る

⑤上記はＩＤカードバーコードチェックによる認証をし、厳格に規制する。

（2）会場での飲食について

①アリーナ及び練習会場へのペットボトル等の持ち込みの際はカバーをすること。

②アリーナ観客席及び１Ｆ武道場観客席での施設を利用しての飲食を可とする。

（3）会場での注意事項（関係各位）

①アリーナでの団旗の貼り付けを許可制とする。（別紙広告協賛の募集を参照）

②個人で靴袋を用意し土足の管理をする。下記**（９）靴袋用意の徹底を参照**

③会場付帯の電源の使用を禁止する。

④座席について

１）座席は一人１席を厳守のこと。（座席は共有物とご認識ください）

２）荷物等を置いての座席確保の厳禁。

３）貴重品の紛失には十分留意すること。

⑤観戦について

１）通路での立ち見、観戦を禁止する。

２）手すりへの寄りかかる行為を禁止する。

３）手すり付近での携帯電話等での撮影を禁止する。

（4）更衣室について

①選手は横浜武道館内指定の男女更衣室を使用する。

（5）横浜武道館へのアクセス　（神奈川県立武道館・練習会場とのアクセス）

○JR京浜東北/根岸線 関内駅南口下車 徒歩６分

○横浜市営地下鉄 伊勢佐木長者町駅下車 徒歩４分 関内駅下車 徒歩８分

○岸根公園駅（県立武道館）→伊勢佐木長者町駅まで横浜市営地下鉄ブルーライン１６分

（6）大会出店業者販売品の事前申込について

大会出店業者販売品の事前申込を受け付けます。データは神奈川県空手道連盟ホームページにリンクする第６回日本生命杯全少選抜大会ご案内より検索して下さい。

（7）ジョイフェスト（旅行業者）に注文されたお弁当の引き渡しについて

①ジョイフェスト（旅行業者）にお弁当を注文された方は、お弁当ブース（2F ロビー６ゲート横に設置）での引き渡しとなります。引き渡しの際は、所属県名と名前を申告してください。

②お弁当の空き箱（お弁当ブース引き渡しのお弁当のみ）は回収致しますのでお戻し下さい。

１４時３０分以降は引き取りが出来なくなりますので、時間厳守でお願いいたします。

（8）ゴミの持ち帰りの徹底について

①横浜武道館でのごみ箱の設置はありません。各自すべて（お弁当の空箱等）のゴミを持ち帰りの徹底をお願い致します。

（9）靴袋用意の徹底

①横浜武道館の館内エントランス及び通路は外履き（土足移動可）

②アリーナ内は裸足又は室内履き（審判シューズ可）

③武道場は裸足のみ可（室内履き及び審判シューズ不可）

④ 選手の館内移動の際、外履き区域での裸足の移動は厳禁と致します。

※武道場よりアリーナに移動する選手通路の養生された区域は裸足移動を可とします。

